

チャレンジ項目記入数 16

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念、社是、品質目標を朝礼にて全社員が唱和し、常に意識できるよう社内にも掲示している。また、年3回の全会議では、経営者自らが経営目標の詳細を説明し、進捗状況の共有とともに、今後の方針を全社員に向けて発信することで、組織全体の方向性の統一を図っている。								8	9								17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方を社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		専門部署【内部統制推進室】を設置し、適時、指導・監督を実施している。併せて、自治体及び各団体からのポスター等を掲示し、周知・啓発に取り組んでいる。																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		コンプライアンスの観点から専門部署を設置している。社会的責任、不正競争が与える会社・個人への影響・損害等のほか報道による事例等も交え、社員に対して不正競争行為に関与しないよう教育を徹底している。											10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		社内コンプライアンス、品質管理(ISO9001)を担当する内部統制推進室を設置している。																		16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		専門部署を設置し、セキュリティ対策及び情報漏洩防止に取り組んでいる。従業員に対しては定期的な指導を行うと共に関連情報の周知、共有している。従業員が業務上知り得た他社の知的財産については、その取扱いに細心の注意を払うよう、全体会議等の機会を通じて継続的に注意喚起を行っている。								8.2 8.3	9									16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報の取扱いについて全社員へ向けその重要性認識のため、教育を実施している。Web上で情報漏洩等がないようセキュリティ強化を図り、専門部署にて管理を行っている。																		16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		業務完了時は顧客にアンケートを依頼し、要望、苦情等をヒアリングするとともに、必要時は専門担当者が訪問のうえ、フォローしている。アンケート結果については社内インターネットに掲載し、全社員に共有している。毎期決算後に株主総会を開催している。																	16	17	
	8	【サプライヤー管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスマント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		事業パートナーとは定期的に連絡協議会を開催し、情報共有及び業界研究に努め、互いの知識向上、脆弱部強化を図っている。					5		8		10		12	13	14	15	16		17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		事業継続計画(BCP)については年に一度の見直しを行っている。防災訓練を実施している。災害時の停電を想定し非常用発電設備、キュービクル式高圧受電設備、高架水槽設備を導入している。							9		11		13.1							16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		幹部養成教育の受講に加え、経営陣が現場指導を行いながら、後継者の育成に取り組んでいる。							8	9											17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		自社で使用するコーヒーについてはフェアトレード商品を購入している。	1	2		5		8					12	13	14	15	16				17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスマントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		ハラスマントを禁止する旨、就業規則に明記している。人権研修を通して、差別やハラスマントを防止する体制及び相談窓口を設置し、啓発活動にも取り組んでいる。取引先の教育機関に依頼し、ハラスマント講習会を実施している。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		安全衛生委員会の設置、月1回の会議の実施、情報共有を図り、各現場の安全パトロールを適時行い指導を徹底している。その他、年1回の安全大会開催、専門の講師を招き講習会を開催し協力業者へも啓発を行っている。		3					8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		職種にとらわれず、全社員社会保険加入及び月給制導入している。年に2回の人事考課を行い、評価についてはフィードバック面接を実施。面接後はアンケート調査実施し、常に人事考課の改善を図っている。				5.5		8.5		10.2 10.3											
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		残業時間の管理徹底、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取組み、有給休暇などの取得奨励を実施している。よかボス宣言を行い、よかボス企業の登録を受けている。		3		5.5		8.5 8.8		10.3											
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		採用内定者へは入社前、入社後の研修を計画的に実施している。ISOにより各本部にて教育訓練の計画を立案、実施、検証を行っている。免許資格取得推進、費用面等、会社で助成している。			4	5.5		8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		健康経営優良法人2025 取得。 くまもと健康企業会参画。健康診断、インフルエンザ予防接種補助、歯科検診補助を実施している。啓発活動として年に一度の「健康づくりセミナー」実施、インターネットでの情報発信をしている。		3				8												17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		定年退職後も継続雇用出来る体制を構築している。女性社員の活躍の場を広げると共に、技術職をサポートする「技術アシストグループ」を新たに設置し、業務効率化と多様な人材の活躍推進の両立を図っている。		4.4	5.1 5.5		8.5		10.2 10.3											16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		全体会議開催時は感染状況に応じ、県内外の支店・営業所においてはWeb会議導入している。現場検査等についても、必要に応じてオンラインでの対応可能なシステムを構築している。		3					8 9.1		11 12										
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		【予定】プライト企業の認定を受けており、2025年6月に更新を予定している。		3	4				8 9.1		11 12										
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		【予定】プライト企業の認定を受けており、2025年6月に更新を予定している。			3	4			8 9		12										

チャレンジ項目記入数 16

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		ゴミの減量化と適切な処理を図るべく、リサイクル可能な資源物は専門業者による分別廃棄を実施している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を算出しており、太陽光パネルの設置、LED照明への更新を行い節電に取り組んでいる。 【予定】2025年7月、空調機の遠隔監視及び省エネサポートシステムの導入を行う。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		CO2排出量を把握し熊本県へ提出している。自社の温室効果ガス排出量を把握し、抑制するため、HV車及びEV車の導入を推進している。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	●		フロンガスの漏洩防止(顧客施設の漏洩点検実施や施工時のガス回収の徹底・協力会社へも指導)に取り組んでいる。顧客には温暖化係数の高いガスが充填されている機器の更新等を提案している。					6.6							14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		iPadを導入し、ペーパーレス化を推奨している。コピー使用時の裏紙使用を実践している。更新したユニフォームについては、マテリアルリサイクルとして製造元へ返送し、資源を有効活用している。							9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		自社内においては、自動水栓を取り付け、節水の呼びかけ実施している。顧客施設施工時は非接触型の自動水栓を推奨している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5		14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		現場事務所開設時等には資材の再利用を実施している。事務用についてはグリーン購入を実施している。							9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		フードドライブ2024に賛同し、食品41.96Kg提供した実績がある(熊本県消費生活課)。社内全体で3010運動を導入している。	1	2			6.4					12.3		14	15		17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		自社玄関前(国道沿い)へ芝桜を植栽している。現場事務所関連においてもプランターを設置し環境美化に取り組んでいる。									11.6 11.7		13.1 13.3		15		17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		自社倉庫屋上へ太陽光発電システム設置し、節電に取り組んでいる。						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		社内懇親会でのプラスチック製品類(カップ、スプーン、フォーク)の使用を廃止している。										12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		営業活動で使用する車両については、HV車を採用推進し、交通インフラが整備された地区への移動は公共交通機関を利用している。							9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

チャレンジ項目記入数 16

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		ISO9001(品質マネジメントシステム)品質基準に則って適正に検査を実施している。お客様アンケートによる満足度向上を目指し、全社にて状況共有している。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		自社内に手すりを設置している。顧客に対しては、センサー付き照明や多機能トイレ、誰もが利用しやすい動線等を考慮したスイッチ位置の提案を行っている。									9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●				2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●									7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		ロードクリーンボランティア、マイリバーサポートに毎年、参画している。自治体及び地域の催事への寄付・協賛及び熊本善意銀行への使用済み切手を預託している。防災ラジオ(熊本シティFM)へ協賛している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		BCPを策定し、年に1回避難訓練を実施している。AED設置及びハザードマップを社内に掲示している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		国交省、熊本県、熊本市と防災協定締結している。地域消防団参加者:3名。大雨及び台風時における排水機場への水防待機を担当している。	1.5			3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●		自治体の発電機含む工事・太陽光等の自然エネルギー関連工事への入札に参加している。防災行政無線戸別受信機の整備工事実績がある。民間においては太陽光・蓄電池・発電機の販売をしている。									9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		不要な衣類を再利用し、開発途上国の人たちにワクチンを届ける支援活動「古着deワクチン」に参画することで、資源循環と健康支援に貢献するとともに、SDGsの意義を広く伝える普及啓発の一助となっている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		例年、インターンシップ受け入れ実績有り(2024年度 2校(3名))。会社見学会実施及びくまもと建麗会をはじめとする業界団体での取り組みに参画している。				4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		県、市主催の会社説明会へ出展し、毎年、県内学校より継続的に採用している。ふるさとくまもと創造人材奨学金返還サポート制度「くま活サポート」に登録している。					4.4				8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2			4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。